

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る



NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 1 の 12

1 化学品及び会社情報

製品識別名

NG150

UFI: 1410-R0R5-S00E-E95Y

物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

塗料およびラッカー

安全データシート作成者の詳細

会社名称: Hottinger Brüel & Kjaer
街路名: Im Tiefen See 45
住所: D-64293 Darmstadt
電話番号: +49 (0)6151 803-0
インターネット: www.hbm.com
担当部門: support@hbm.com

警察署・消防署への非常通話番号: +49-30-18412-0

2 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

EC 規制 No. 1272/2008

危険有害性カテゴリー:

引火性液体: 引火性液体 2

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚刺激 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の刺激. 2

生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性 2

発がん性: 発ガン性 1B

特定標的臓器毒性 (単回ばく露): 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 3

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気。

皮膚刺激。

強い眼刺激。

遺伝性疾患のおそれの疑い。

発がんのおそれ。

眠気又はめまいのおそれ。

ラベル要素

EC 規制 No. 1272/2008

ラベルに表示されなければならない有害成分

butanone; ethyl methyl ketone

phenol; carbolic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol

formaldehyde ... %

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る



NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 2 の 12

注意喚起語: 危険

危険有害絵文字:



危険有害性情報

- H225 引火性の高い液体及び蒸気。
- H315 皮膚刺激。
- H319 強い眼刺激。
- H336 眠気又はめまいのおそれ。
- H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。
- H350 発がんのおそれ。

危険の予防

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
- P280 保護手袋/防護衣/保護眼鏡/保護面/防音保護具/を着用すること。

特別調合剤の例外ラベル

- EUH208 formaldehyde ... %, di(benzothiazol-2-yl) disulphide を含む。アレルギー反応を起こすことがある。
専門的な使用者に限定。

Labelling of packages where the contents do not exceed 125 ml

注意喚起語: 危険

危険有害絵文字:



危険有害性情報

H341-H350

危険の予防

P201-P280

他の危険有害性

情報は何もない。

3 組成及び成分情報

混合物

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る



NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 3 の 12

危険有害成分

CAS番号	化学名	数量
	GHS 分類	
78-93-3	butanone; ethyl methyl ketone	60 - < 70 %
	Flam. Liq. 2, Eye Irrit. 2, STOT SE 3; H225 H319 H336 EUH066	
108-95-2	phenol; carbolic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol	1 - < 2 %
	Muta. 2, Acute Tox. 3, Acute Tox. 3, Acute Tox. 3, Skin Corr. 1B, STOT RE 2; H341 H331 H311 H301 H314 H373	
50-00-0	formaldehyde ... %	< 1 %
	Carc. 1B, Muta. 2, Acute Tox. 3, Acute Tox. 3, Acute Tox. 3, Skin Corr. 1B, Skin Sens. 1; H350 H341 H331 H311 H301 H314 H317	
120-78-5	di(benzothiazol-2-yl) disulphide	< 1 %
	Skin Sens. 1, Aquatic Acute 1, Aquatic Chronic 1; H317 H400 H410 EUH031	

HおよびEUH条項の表記: 16章を参照すること。

SCL、M-factor 及び/又は ATE

CAS番号	EC番号	化学名	数量
		SCL、M-factor 及び/又は ATE	
108-95-2	203-632-7	phenol; carbolic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol	1 - < 2 %
		吸入: 急性毒性の推定 = 3 mg/l (蒸気); 吸入: 急性毒性の推定 = 0,5 mg/l (塵/ミスト); 経 皮: 急性毒性の推定 = 300 mg/kg; 経口: 急性毒性の推定 = 100 mg/kg Skin Corr. 1B; H314: >= 3 - 100 Skin Irrit. 2; H315: >= 1 - < 3 Eye Irrit. 2; H319: >= 1 - < 3	
50-00-0	200-001-8	formaldehyde ... %	< 1 %
		吸入: 急性毒性の推定 = 3 mg/l (蒸気); 吸入: 急性毒性の推定 = 0,5 mg/l (塵/ミスト); 経 皮: 急性毒性の推定 = 300 mg/kg; 経口: 急性毒性の推定 = 100 mg/kg Skin Corr. 1B; H314: >= 25 - 100 Skin Irrit. 2; H315: >= 5 - < 25 Eye Irrit. 2; H319: >= 5 - < 25 Skin Sens. 1; H317: >= 0,2 - 100 STOT SE 3; H335: >= 5 - 100	

詳しい情報

情報は何もない。

4 応急措置

必要な応急手当の記述

一般情報

当事者を、危険区域から連れ出し、寝かせること。意識不明だが呼吸している場合には、回復体位を取らせると共に医学的助言を仰ぐこと。応急処置: 自己防護に留意すること!

吸い込んだ後に

疑わしい場合は必ず、または、症状が現れている場合は、医師に相談すること。

新鮮な空気を入れること。

気道に刺激がある場合は、医者にかかること。

皮膚に付着した後に

皮膚に触れた場合、直ちに多量の水かつせっけんで洗い流すこと。汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。皮膚に刺激がある場合は、医者にかかること。

NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 4 の 12

目に付着した後に

目に触れたときは、直ちに、瞼を開けた状態で10～15 minの間、眼を流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

葛下後

直ちに口をすすぎ、たくさん水を飲むこと。被災者が意識不明かまたは痙攣症状がある場合は、決して口から物を与えないこと。無理に吐かせないこと。

最も重要な症状および作用、急性および後発性

情報は何もない。

緊急治療および特別処置が必要な兆候

情報は何もない。

5 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤**

水のジェット噴霧, 乾式消化剤, 泡

使ってはならない消火剤

棒状注水

物質または混合物特有の危険有害性

高い可燃性。

蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。

消防士のための事前注意事項

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。

消火対策を、周辺地域に適合するよう調整すること。

追加の指摘

危険区域では、従事者の保護と容器冷却のため、水を霧状に噴射すること。ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。

6 漏出時の措置**人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置****全般的な注意事項**

すべての発火源を除去すること。十分に換気すること。ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。個人用の保護具を使用すること。下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。十分に換気すること。

環境に対する予防措置

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。

封じ込めおよび浄化方法と機材**その他参考となる事項**

機械で拾い上げ、適切な容器に入れて、処理に持っていくこと。液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結

NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 5 の 12

合剤、万能接着剤) を用いて、取り除くこと。

他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7

個人用保護具: 参照箇所 節 8

廃棄物処理: 参照箇所 節 13

7 取扱い及び保管上の注意**安全な取扱いのための予防措置****安全取扱い注意事項**

一ヶ所での吸引が不可能もしくは不十分ならば、可能な限り作業区域の換気をよくすることが、保障されるべきである。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。

火災および爆発防護に関するアドバイス

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。換気が不十分な場合および/あるいは使用することにより、爆発性の/発火しやすい混合物発生の可能性がある。

扱いに関する追加情報

人身用防護装備を身に付けること (第8章を参照)。下水道に流入させないこと。職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。

配合禁忌等、安全な保管条件**倉庫と容器の需要**

容器は密閉し、換気のよい場所で保管すること。

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。

共同貯蔵に関する注意事項

TRGS 510

保管状態に関する追加情報

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

8 ばく露防止及び保護措置**管理パラメーター****物質の許容濃度 (日本産業衛生学会)**

CAS番号	物質名	ppm	mg/m ³	繊維/ml	範疇	起源
108-95-2	フェノール; Phenol	5	19		許容濃度	皮
50-00-0	ホルムアルデヒド; Formaldehyde	0.1	0.12		許容濃度	
		0.2	0.24		最大許容濃度	
78-93-3	メチルエチルケトン; Methyl ethyl ketone	200	590		許容濃度	

極限值に関する追加説明

情報は何も無い。

曝露防止

NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 6 の 12

**適切な工学的制御**

包装していない製品を取り扱う際は、できる限り局所吸引を備えた装置を使用しなければならない。

使用の際、爆発性の/発火しやすい蒸気-空気-混合物発生の可能性ある。

防爆型の電気機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

保護・衛生対策

作業時には、飲食をしてはならない。

ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。

皮膚に接触した場合、汚れて濡れた衣服を直ちに脱いで、多量の水とせっけんで洗い流すこと。

適切な保護衣/保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！

眼/顔面用の保護具

保護めがね/顔面保護具を着用すること。

手の保護具

化学物質を取り扱う際には、4桁の検査番号を含むCE表示のついた化学物質用保護手袋に限り、着用しなければならない。EN ISO 374

化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。

手袋の材質の厚さ: $\geq 0,7\text{mm}$

適切な手袋の種類 NBR (ニトリルゴム)

破過時間: $>480\text{ min}$

前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

皮膚の保護

使用した作業服は、作業場所の外で着用するべきではない。

作業服は分けて保管すること。

靴および作業着は、帯電防止加工のものを着用すること。

呼吸器の保護

技術的な吸引または換気対策が、不可能もしくは不十分ならば、呼吸保護具を着用しなければならない。

フィルターのついた濾過装置（全面マスク、または口当て）：a

環境における露出管理

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

その製品の蒸気は空気よりも重いので、床の上、坑、下水道や地下室の中に、高濃度で溜まり得る。

9 物理的及び化学的性質**基礎物理および化学特性の情報**

物質の状態:	液体の
色:	黄色
臭い:	ケトン

NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 7 の 12

pH値: 確定されていない

状態の変化

融点: 確定されていない

沸点また初留沸点及び沸騰範囲: 80 °C

昇華点: 確定されていない

軟化点: 確定されていない

流動点: 確定されていない

確定されていない:

引火点: 9,7 °C

可燃性の継続: データなし

引火性

固体/液体の: 確定されていない

ガス: 確定されていない

爆発特性

使用の際、爆発性の/発火しやすい蒸気-空気-混合物発生の可能性がある。

爆発下限: 1,5 体積%

爆発上限: 11,5 体積%

発火点: 475 °C

自然発火温度

固体: 確定されていない

ガス: 確定されていない

分解温度: 確定されていない

酸化特性

確定されていない

蒸気圧: 101 hPa

(で 20 °C)

蒸気圧: 確定されていない

(で 50 °C)

密度 (で 20 °C): 0,9 g/cm³

仮比重: 確定されていない

水溶性: 確定されていない

溶媒に対する溶解性

確定されていない

n-オクタノール/水分係数: 確定されていない

絶対粘度: 確定されていない

動粘度: 確定されていない

流出時間: 確定されていない

相対蒸気密度: 確定されていない

NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 8 の 12

蒸発速度:	確定されていない
溶剤分離試験:	確定されていない
溶剤の成分:	確定されていない

その他の情報

固形分濃度:	2,61 %
--------	--------

10 安定性及び反応性**反応性**

情報は何もない。

化学的安定性

この物質は、推奨される保存条件、使用条件、温度条件の下では化学的に安定である。

危険有害反応性の可能性

規定に従って取扱い及び貯蔵される場合、有害反応はない。

避けるべき条件

情報は何もない。

不適合物質

情報は何もない。

危険有害性のある分解生成物

情報は何もない。

詳しい情報

情報は何もない。

11 有害性情報**毒性情報****急性毒性**

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る



NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 9 の 12

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
108-95-2	phenol; carboic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol				
	経口の	急性毒性の推定 100 mg/kg			
	皮膚の	急性毒性の推定 300 mg/kg			
	吸い込んで 蒸気	急性毒性の推定 3 mg/l			
	吸い込んで エアロゾ ル	急性毒性の推定 0,5 mg/l			
50-00-0	formaldehyde ... %				
	経口の	急性毒性の推定 100 mg/kg			
	皮膚の	急性毒性の推定 300 mg/kg			
	吸い込んで 蒸気	急性毒性の推定 3 mg/l			
	吸い込んで エアロゾ ル	急性毒性の推定 0,5 mg/l			

刺激性及び腐食性

皮膚刺激。

強い眼刺激。

感作性影響

formaldehyde ... %, di(benzothiazol-2-yl) disulphide を含む。アレルギー反応を起こすことがある。

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

遺伝性疾患のおそれの疑い。(phenol; carboic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol;

formaldehyde ... %)

発がんのおそれ。(formaldehyde ... %)

生殖毒性: 入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

眠気又はめまいのおそれ。(butanone; ethyl methyl ketone)

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る



NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 10 の 12

動物実験における具体的な結果

情報は何もない。

テストに関するその他のインフォメーション

情報は何もない。

実務での験

情報は何もない。

詳しい情報

情報は何もない。

12 環境影響情報

毒性

CAS番号	化学名					
	水生有毒	投与量	[h] [d]	種	源泉、出典	方法
108-95-2	phenol; carbolic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol					
	藻類毒性	ErC50 mg/l	229	72 h	GESTIS	

残留性と分解性

情報は何もない。

生物蓄積性

情報は何もない。

n-オクタノール/水分配係数

CAS番号	化学名	Log Pow
108-95-2	phenol; carbolic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol	1,5

土壌中の移動度

情報は何もない。

その他の有害な影響

情報は何もない。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

廃棄の勧告

廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

14 輸送上の注意

海上輸送 (IMDG)

UN番号:	UN 1193
正式の国連輸送名:	ETHYL METHYL KETONE (METHYL ETHYLKETONE)
輸送における危険有害性クラス:	3
包装等級 (P G) :	II
危険物ラベル:	3

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る



NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 11 の 12



特別な設備: -
 量制限: 1 L
 微量: E2
 EmS: F-E, S-D
 隔離すべき物質群 (国際海上危険物
 規則IMDGの分類): 1 - acids

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

UN番号: UN 1193
正式の国連輸送名: ETHYL METHYL KETONE
輸送における危険有害性クラス: 3
包装等級 (PG): II
 危険物ラベル: 3



特別な設備: A3
 量制限-乗客: 1 L
 Passenger LQ: Y341
 微量: E2
 IATA梱包方指示-乗客: 353
 IATA最大数量-乗客: 5 L
 IATA梱包指示 (貨物機): 364
 IATA最大数量 (貨物機): 60 L

環境危険有害性

環境に有害である: いいえ

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

IBCコードによるばら積み輸送を行ってはならない。

15 適用法令

物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内規定情報

従業員制限: 若年層への従業員制限に注意する。
 妊婦及び授乳中の母親の従業員制限に注意する。
 水に与える有害性等級 (ドイツ): 3 - 水を非常に汚染する

16 その他の情報

変更

安全データシート

EC規定No. 1907/2006に拠る



NG150

加工された日付: 26.05.2021

ページ 12 の 12

このデータシートは次の項目の以前のバージョンからの変更を含んでいる : 14.

GHSによる混合物の等級分類および適用した評価法

分類	分類方法
Flam. Liq. 2; H225	試験データを基にした
Skin Irrit. 2; H315	算出方法
Eye Irrit. 2; H319	算出方法
Muta. 2; H341	算出方法
Carc. 1B; H350	算出方法
STOT SE 3; H336	算出方法

HおよびEUH条項の表記(番号および全文)

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H301	飲み込むと有毒。
H311	皮膚に接触すると有毒。
H314	重篤な皮膚の葉傷及び目の損傷。
H315	皮膚刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319	強い眼刺激。
H331	吸入すると有毒。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い。
H350	発がんのおそれ。
H373	長年にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
EUH031	酸と接触すると、有毒ガスを発生。
EUH066	繰り返し曝露すると、皮膚乾燥またはひび割れの発生可能性。
EUH208	formaldehyde ... %, di(benzothiazol-2-yl) disulphide を含む。アレルギー反応を起こすことがある。